

月刊

利根日石新聞



2009年11月1日 創刊 平成25年10月号

第000048号

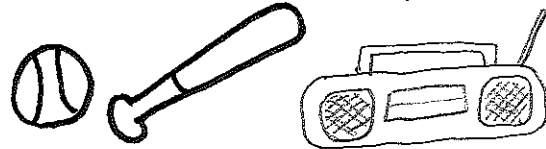
発行 利根日石株式会社 本社販売管理課 TEL: 0278-24-1635 FAX: 0278-23-7980

10月

もうあつという間に秋です。サンマ魚がおいしい季節です。大根おろして、ほん酢で食べてもおいしいですよ。松茸も今年は豊作らしく、市場に出ていますね。でも買えないな。

くりご飯に、サンマと松茸の焼き物、お吸いものメニューは、秋〜って感じで味わいたいものです。

先月、わが家の三男坊が『FM尾瀬』に少年野球の件で、5年生の仲間と出たんです。その時は生放送だというのに、堂々と黙ってしまうこともなく、次から次へと時間一杯話せたのには驚きました。今の子供は平気なんですね。はすかしいとか、緊張するとかないんでしょうか?? 親は冷や汗をかきながら聞いているのに。



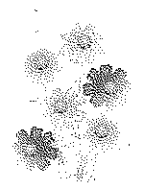
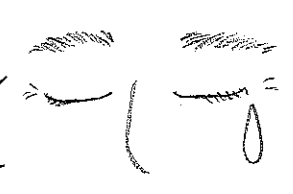
私たちの会社では、週の初めに全体ミーティングを行なっています。その中のひとつ順番で5分間スピーチをしておりますが先月のあるスピーチをご紹介します。

ある会社の入社試験のひとつの中に、「みなさんは、お母さんの片たたきをした事がありますか」との質問に全員が「もちろんあります」と答えたそうです。「ではお母さんの足を洗ってあげた事がありますか」との質問には1人もいなかったそうです。「では何日か差し上げますので洗って来て下さい」と言われたそうです。なんたそんな簡単な問題よかったと思いついた所、何度もお母さんに言えなくて後ろをうろうろ何日かしていたら「どうしたの気持ちが悪いわお母さんの近くに寄って来て」その時やっと足を洗う事が試験なんだと話しが出来て縁側に座ってもらい、たらいにお湯を入れて足を洗いだすとビックリお母さんの足の裏は、ガサガサで「父が早くに亡くなったの?」お兄ちゃんと自分をこの足で育ててくれたんだと思ったら、「母さん長生きしてくれよ」とお母さんに言ったら母の目から涙がポタリ落ちたそうです。「自分一人で大きくなったのではない」とその事を考えてほしかったのですね。その時遠く離れた母に私も同じ長生きしてほしいと思いました。

☆ある田んぼに、マネキン魚の首まである頭が、あずめ対策?に置いてある所があるんです。いくつも... 何か、とてもきみょうです...



山口百恵ちゃんの「秋桜」を思い出します。



カモーン!

水素化社会

今年の夏は異常気象でした。記録的な猛暑に豪雨、そして竜巻、とこよらの異常気象の原因とされているのが温室効果ガスの排出と、地球の温暖化です。そして、この地球温暖化問題の切札とされているのが**水素**です!

先日、北九州市で進められている水素化社会に関する実証実験を視察して参りました。北九州市の東田地区には1901年に創業した八幡製鉄所があり、その為、九州電力からではなく、自前の発電所によって電気を賄ってきた歴史があります。現在は全盛期ほどの電気は必要とせず、余剰電力を使えば東田地区の住宅で必要な電気は十分賄えること、また製鉄所では製鉄工程の中で水素が副生されること、北九州市が環境モデル都市に指定されていることなどから、水素を用いた次世代型「スマートコミュニティ創造事業」を推進する全国でも有数のモデル都市となったのです。

ちなみに「スマート」とは、日本では細身に「スリムな意味合いで使われることが多いですが、英語の「smart」は本来、「賢い」や「高性能な」という意味を持っています。「スマートコミュニティ」とは一般的に電気と情報の送受信を使って、電気や水素などの次世代エネルギーを無駄のないように管理し、賢く使う社会のあり方を言います。

今回、視察した中でも印象に残った**水素ステーション**を紹介します。



500坪以上の広大な敷地に、従来のセル式ガソリンスタンドに加え、水素の充填設備と電気自動車用の急速充電機も併設。どんな車両でもエネルギー供給出来る次世代型スタンドです。当社のスタンドもいずれこんな立派なスタンドになることを夢見ました。

先日の報道によれば「何も対策をとらなければ今世紀末には平均気温が4.8℃上昇し、海面水位が82cm上昇する」との事です。今から更に平均気温が5℃近く上昇し、海面上昇によって砂浜の約8割が消失してしまう光景を想像すると、不安を乗り越えて、「布さ」を感じます。

自分の子供や孫にそんな怖い世界を残さぬためにも、次世代エネルギーの到来が待ち望まれます。